【様式３】

③食育の日の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	伊勢市立修道小学校
取組の名称	食育放送
実施時期	放送日…10月25日・11月21日・12月19日 ６年生授業日…12月15日・16日
取組内容	本校では食育の日に給食に関する放送をし、全校児童（368名）の食について考えるきっかけとなることを目指しました。放送は給食委員会が中心となり行いましたが、１月以降は６年生からの放送も予定しています。内容は給食委員会からは【給食で使用されている地元食材の紹介】と【給食委員会から伝えたいこと】、６年生からは【食べ物をとおして伊勢市をPRしよう】です。 **【給食委員会から伝えたいこと】** 給食委員会は毎日給食室への食器や食缶の返却に携わっています。そこで気づいたことを給食委員会で出し合って食育の日に給食の時間に放送で伝えました。返却時のルールを守ること、食器を丁寧に扱うことなどは給食を作ってくれている調理員の人たちへの感謝の気持ちの表し方の一つです。そのことに触れながら委員長が中心となって考えたメッセージを全校児童に伝えることができました。 **【食べ物をとおして伊勢市をPRしよう】** 栄養教諭の先生と家庭科の時間に地元の食材について学習しました。まず、伊勢市の土地の特徴について考えました。田畑が多いことから農産物がたくさんとれること、海に面していることから海産物もとれることを確認しました。そして献立を見てどの食材が地元のものなのか予想しました。本校の給食では毎月１９日は地物一番の日として地元の食材が多く使用されます。その日の献立に注目したところ、子どもたちの予想以上にたくさんの食材が地元のもので驚きの声があがりました。 次に地産地消のいいところを考えました。経済的側面・安全面など様々な角度から地産地消の魅力を見つけられました。 最後に地元のＰＲ文を考えました。食材が豊富なこと、水がきれいでお米がおいしいことからお餅の特産品もたくさんあることなど、伊勢市の地理的特徴に注目しながら伊勢市のＰＲ文を考えることができました。 この学習を通し、自分たちが恵まれた食環境にいることに気づくことができ、よかったです。また、この学習を１２月に行ったため、１月以降の食育の日に給食の時間を使って全校放送を予定しています。